

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いるか		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～ 令和 6 年 12 月 20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～ 令和 6 年 12 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 11 月 30 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各児童のその日のコンディションや体調などに合わせて、療育の内容を設定し、個々の特性に合わせた療育を行います。	本人の意思を尊重し、楽しみながらプログラムに参加できるよう配慮している。支援計画に沿いながらも、その日の各児童の機嫌や遊びに合わせて療育を行うようにしている為、多種多様な療育内容を準備し、各児童の発達度合や成長過程を各職員が共通理解している。	5領域全域の療育内容を豊富にし、多様な子どもの特性の把握や、職員全員がより良い支援を行えるよう、指導員の資質向上を図っていききたい。
2	保護者と日々の様子などを共有し、子どもたちの成長を共に喜んだり、悩みを共有し、指導員と保護者が近い存在で支援します。	連絡帳で療育の様子をお伝えするだけでなく、送迎の際には些細なことでも様子を直接お伝えし、保護者との信頼関係を築けるようにしている。雑談の中で保護者の悩みや思いを汲み取り、保護者の支援にも繋げるようにしている。	家庭支援や子育てサポートに取り組んではいるが、保護者会や保護者が気軽に相談に来られるような場所の提供など、保護者が相談することへのハードルを低くしていききたい。
3	多方面からの支援と途切れのない支援を行えるよう、各関係機関との連携を図り、しっかり子どもや保護者をサポートしていきます。	各児童が通園している幼稚園や保育園の園長先生や担任の先生と連携を図りながら、児童への支援の方法の共通理解や情報の共有を行っている。また幼稚園や保育園での児童の様子を見学することで、本人の困りごとを見つけ、支援へのヒントを得たり、支援計画作成の材料としている。	児童が就学する小学校や特別支援学校、また放課後等デイサービスなどとの連携を図り、保護者や本人の環境の変化への負担を軽減できるようにしていききたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に向けた連携が乏しい為、色々な連携の図り方を考えていきたい。	「療育施設」という事自体があまり地域に知られていない為、連携の図りにくさがあった。	地域に開かれた施設となるよう、どういうことを行う施設であるか、どんな子どもたちがいるのかを交流の中で知ってもらえる機会を作っていきたい。
2	保護者同士の交流が図れる場所や機会が少ない為、保護者同士が繋がれる機会が設けられるようにしていきたい。	お仕事をされている保護者が多い事と、子どもの気持ちの安定の為にも保護者が見学にくることが難しい状況であった。	保護者の安心を得られるよう、環境や時間を調整するなど工夫し、保護者が孤独にならないよう、保護者同士が繋がりを得られるような取り組みを行いたい。
3			